

第8号

市自公連だより



筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局

■〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南1-9-3

■発行責任者 会長 中野 二郎

生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

【役員の言葉】



筑紫野市自治公民館連絡協議会

副会長（総務） 平嶋 人美

山家6区公民館館長

コロナ禍の中、楽しみにしていた九州地区公民館研究大会も動画配信による開催になりました。

筑紫野市自治公民館連絡協議会（市自公連）ではコロナ対策をしながら役員会、研修会等に取り組んできました。6月26日の館長、主事等研修会では、災害について筑紫野市危機管理課主任 石井孝一様より「災害時の公民館の役割」と題し講演をいただき、その後各コミ協に分かれて討議を行いました。災害は地域によって異なり、自分の地域にどうした災害が起るのか、前もって把握することがいかに大切であるか、改めて考えさせられた一日になりました。

本年度、市自公連では、「地域防災」「地域福祉」「教育」と三つのテーマを立て研修を行ってきました。このことは、「ひとつくり、つながりづくり、地域づくり」を目指し地域コミュニティの発展と公民館活動の活性化につなげていただく一助になったのではないかでしょう。また、地域の役員会等にて意見を出し合い深めていただいた地区もありました。役員会等も短時間での開催になり難いとは思いますが、可能な限り情報の共有化を図り、解決策を見出していくことを願っています。

市自公連といたしましてもコロナ禍を乗り切り、各公民館に、住民の皆さん元気な笑顔が一日も早く戻ることを望んでいます。

令和3年度市自公連館長・主事等研修会

6月26日(土) 13時半から生涯学習センター視聴覚室で開催。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、役員・理事・コミ協関係者（21名）を対象にしたミニライブ研修を実施し、その様子をDVDに収録して、研修資料と一緒に各公民館館長・主事等に配付しました。

【研修内容】①公民館館長・主事の基本的な役割、市自公連の研修体系 ②地域防災に関する講演（講師 筑紫野市危機管理課主任 石井孝一氏）③館長・主事等としての課題、対策についての討議、意見交換 ④討議結果発表、まとめ。各公民館等に送付した研修資料一式をご確認いただき、今後の活動の参考にしていただければ幸いです。



令和3年度市自公連推進大会

今年度の大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月16日(土)に、役員のみ参加するミニライブ研修を実施しました。今回は、市自公連の研修体系に沿って、地域福祉に重点を置いた研修ということで、大会テーマ等に「地域福祉」というキーワードを盛り込んでいます。展示は中止ましたが、開会行事・講演・事例発表(インタビューダイアログ)を実施しました。

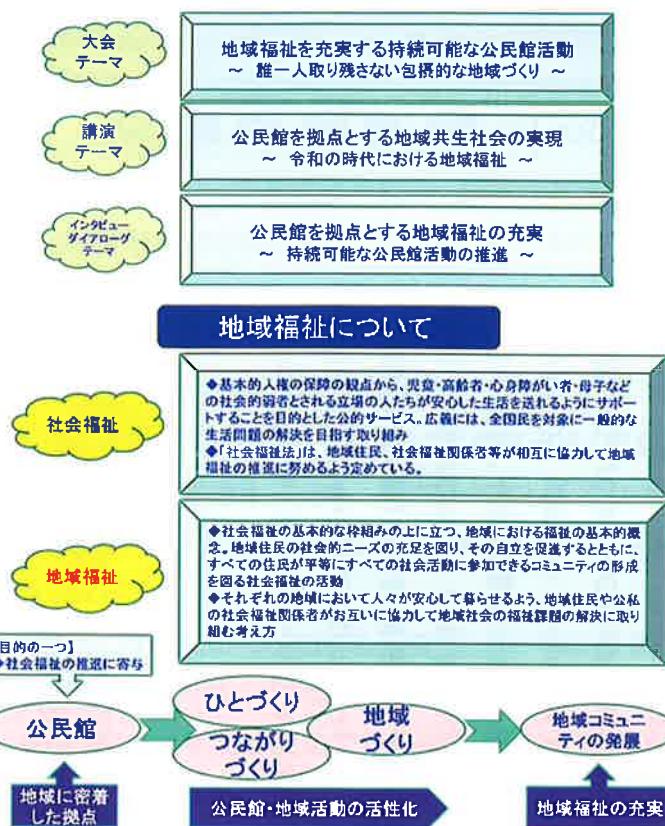
【講演】「公民館を拠点とする地域共生社会の実現」～令和時代における地域福祉～ 講師 筑紫女子大学教授 山崎 安則 氏

【事例発表】山口公民館館長 石内 傳治 氏

下見一公民館主事 大石 敦 氏

特に、大会冊子に掲載しております本大会の大会宣言の内容を共有し、今後の活動の起爆剤のひとつとして、日頃の活動に拍車をかけていただければと思います。なお、その様子を収録したDVDを、研修資料と一緒に各自治公民館館長・主事、コミ協会長・事務局、コラボ館長・主事の皆様に配布する予定です。

令和3年度市自公連推進大会テーマ



令和3年度九州地区公民館研究大会

【分科会(第1～8)】

「地域・学校・家庭が連携・協議した活動」「家庭教育・子育てを支援する活動」「人生100年時代へ対応するための活動」「誰一人取り残さないまちづくり」「自治公民館活動」「青少年の成長と自立を促す活動」「防災や防犯のまちづくり」「コロナ禍における公民館活動」

【内容】 第4分科会「誰一人取り残さないまちづくり」において、みかさ台公民館の久木田館長が事例を発表され、その様子が、9月3日(金)にZOOMによる動画撮影で収録されました。

SDGs対応の公民館活動として、まず目標④「生涯学習の機会促進」の取組みのひとつであるサークル活動(特にコロナ禍での活動)について、次に目標⑪「住み続けられまちづくり」を実現するため、地域で推進されている防災・防犯・福祉活動及びコミュニティと自治公民館の一体化の事例が発表されました。また、誰一人取り残さない「人権尊重」の取組みとして、公民館食堂“みかさ亭”的紹介、持続可能な公民館活動を実現するオンライン公民館、ホームページ、YouTubeチャンネルなどの取組みが紹介されました。発表後、助言者や他の事例発表者(篠栗町北勢門校区地域づくり協議会)を交えた座談会の様子も収録されました。これらの分科会の様子は、11月にオンラインで配信される予定です。

【開催方法】動画配信 【配信期間】：11月8日(月)9時～26日(金)17時



【大会テーマ】「持続可能な地域づくりに向けた公民館活動の在り方」

湯町公民館 ホームページ

「コロナ禍なので、よりホームページを活用しよう！」

湯町公民館 館長 藤 雄一

今回は湯町のホームページをご紹介します。

開設は平成 26 年 4 月です。きっかけは、「ホームページ作成の専門学校を卒業された松村さんが組長をされていて作れますよ。」ということをお聞きしたので、お願ひして作成してもらいました。丁度いいタイミングだったと思います。

内容・運用方法としては、毎月発行している「湯町かわら版」の補足に使用していることが多いです。

育成会・シニア・土曜クラブなどの各サークルの活動案内を始め、夏まつり・主催講座など各行事の申込みがホームページ上で出来るようにしております。災害時においては、市からの災害避難情報なども配信しております。

コロナ禍の今、いつでも、どこでも(自宅等)、スマホ・パソコンから町の情報が確認できて、イベント等の申し込み、公民館への要望、公民館の使用予約まで出来るというのは、とても大事なことだと思います。



↑ ホーム画面



↑ アクセス数など

データを見ることが

出来ます。

大雨など災害時多い

です。



<http://yumachi.sunnyday.jp/>

↑ 湯町公民館 ホームページアドレス ⇒

ホームページの構築のシステム WordPress(ワードプレス)で、ブログから高性能なサイトまで作ることができるオープンソースのソフトウェアを使用しています。

公民館のパソコンはもちろん、外でスマホからでもホームページの更新が簡単にできますのでタイムリーな情報を流すことも可能です。

ホームページについて懸念される問題の「更新」が簡単に出来るシステムとなっております。

アクセス数は平均で、平日が 10 件程度、土日が 40 件程度です。

みかさ台公民館 ホームページ

<http://mikasadai.sub.jp/>



“みかさ台広場”のホームページをご利用ください

みかさ台区会、みかさ台公民館では以前からみかさ台のホームページを開設しています。

みかさ台における全ての情報をアップしております。月1回の回覧板情報に加え、公民館の行事予定表、利用状況、利用規約、サークルの活動状況、緊急広報の掲示板等をいつでも閲覧できます。回覧板等で見過ごした情報の確認などもパソコン、スマートフォンから検索し、日々の情報確認にご利用ください。

Googleから「みかさ台広場」で
検索、または音声入力し
ホームページに入ってください



The screenshot shows the main navigation bar with links like '区会便り', '公民館便り', '文庫便り', etc. Below the navigation is a large banner for 'みかさ台広場'. To the left is a sidebar for 'みかさ台区会' and '公民館' activities. In the center, there's a photo of red flowers and text for the '5月度 公民館だより'. At the bottom right is a logo for 'みかさ台公民館'.

This screenshot shows the 'みかさ台チャンネル' section with a video thumbnail and a link to 'みかさ台チャンネル (YouTube)'. Below it is a 'みかさ台公民館休館について' notice about the closure due to the COVID-19 emergency declaration extension.

コロナで活動を制限されている中、“みかさ台の皆でつながろう！”という思いから”YouTube”で
「みかさ台チャンネル」を作りました。随時新しい情報をアップして行きます。

画面左のメニュー赤〇印の「みかさ台チャンネル」をクリックし御覧ください。

企画立案、撮影等はみかさ台の「ムービークラブ」の協力を頂いています。

◆開設:平成24年6月 ◆HP作成ソフト:QHM(クリックホームページメーカー)

◆運用:毎月の会報回覧時に更新(事務員担当) ◆レンタルサーバー更新費用(1,485円/年)

永岡区 ホームページ



「永岡区は、市のほぼ中央部に位置し、高台にある永岡八幡宮辺りは昔から見通しの利く交通の重要な拠点でした。1,300年前にはここに永丘(長岡)駅家が設けられ、早馬が配置されていた。と言われている歴史ある地域です。永岡区が目指す方向は、どこよりも住みやすい郷土愛に満ちた活気のある地域社会です。」(ホームページから)永岡区は、年々人口が増加し、本年3月末現在、1,596世帯、人口3,354人を擁していますが、今後も大型マンションや大規模アパートの建設で更に人口増加が見込まれています。

ホームページ開設の経緯についてですが、従来区の広報等は掲示板でのポスター掲示や市広報配付時に隣組長(現在43)経由で戸別配付や回覧により行っていました。その他、区広報紙「かわら版」やCD版「永岡の四季」を作成し配付しています。

更に広報の充実を図るため、筑紫南コミセン主催のホームページ作成講座を役員が受講したり、先進地のIT活用事例などを学んで、平成30年に区ホームページを立上げました。

掲載内容は、区・公民館（総会、および夏まつり、敬老会、歩こう会、餅つき大会、ほうげんきょう等）をはじめ福祉（いきいきサロン等）、環境・リサイクル、安全安心・青バト・見守り、その他地区会や永寿会など団体の活動状況などです。

運用要領としては、随時担当役員が更新案を作成し、区長（館長）の校正後、掲載しています。「かわら版」は、発行の都度ホームページを更新して掲載しています。

課題として、更新や内容充実など継続的な管理運用のために、精通した役員の定着化があります。

HP アドレス <https://nagaoka-kouminkan.jimdo.com>どうぞ見てください！！



元年7月および 永岡最大のイベント



2年11月歩こう会 コロナ感染対策をして実施



元年9月敬老会

ご馳走や金興など盛大に開催



元年12月餅つき大会

年末恒例 老若男女が大勢参加



2年1月ほうげんぎょう

年初めの伝統行事



筑紫南コミュニティ運営協議会ホームページ

会長 古川 仁敬



《広報委員会の様子》

筑紫南コミュニティ運営協議会では、広報活動として「コミュニティだより」と「スマイルタウン通信」などの回覧文書で、当協議会の活動を紹介しています。

しかし、まだまだ認知度が低いこともあり紙ベースだけでなく、いつでもどこでもスマホでも迅速に地域の情報を閲覧できるツールとしてホームページの開設の必要性を感じるようになりました。始めは、地域住民ボランティア（南コミセン主催講座にてホームページ作成を学んだ方々とその講師）4名に依頼して度々、話し合いの場を設け独自のホームページを立上げました。予算に限りがあるため無料ホームページツール「ジンドゥー」を利用し、内容については「年齢を問わず分かりやすく地域住民にとって有益な情報」になるよう心がけています。

コミュニティ概要や事業の紹介、お役立ち情報（ゴミ収集カレンダーやつくしんぼ号巡回表など）、講座の申込など地域回覧で見逃した内容や生活に即した情報などが見られるようになっています。

現在では、6名の広報委員が1ヶ月交代の当番制で更新作業にあたり、全体的な改善点等については、月一回の広報委員会で事務局と一緒に内容精査しております。今後とも地域の皆様のお役に立ち、愛されるホームページ作りを目指したいと思っています。

ホームページアドレス <https://minamikomikyou.jimdofree.com/>



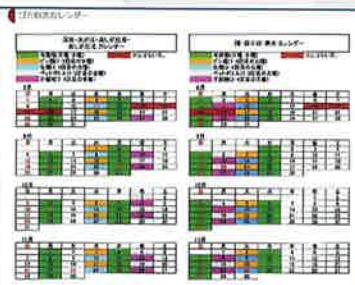
《風の音コンサート思い出の
アルバム配信より》



ホームページの顔であるバナーは、季節毎に変更
南コミ協キャラクターの“みなみちゃん”もコロナ感染
対策でマスク姿になっています。



「お役立ち情報」では地域の
皆様の生活に寄り添った内容を
掲載しており「スマホで気軽に
確認ができる助かります」とご
意見をいただいています。



《ゴミ収集カレンダー》



《筑紫南地区 防災情報マップ》

●ホームページでは、以下のようなメニューがあります。一度アクセスしてみてください。

ホーム（お知らせや回覧） チラシ 概要 行事 コミ協だより スマイルタウン通信 役立情報 みなみーる
講座申込 リンク 部会記録



《中学校の全体合唱配信の様子》

2020年度は、コロナ禍のため通常のコミュニティまつりが開催できなかったので「エアまつり」として期間限定のホームページを立ち上げ、小中学校、各公民館、コミセン利用団体等の活動を配信しました。「遠方にいてなかなか会えない孫の成長した姿を視聴できて嬉しかったです。」など感想をいただきました。コロナ禍でも心なごむひとときを提供できたようです。

公民館紹介 山家7区公民館

山家地区は、長崎街道沿いにあり、山家宿西構口は県指定史跡に指定されるなど歴史ロマンにあふれる地区です。

山家7区にも「山家宿問屋場跡」や元和元年(1615)開基といわれ「大施餓鬼供養」で有名な円通院などがあります。

現在、山家には1区～9区がありますが、山家7区は、105世帯(はす町団地含)で成り立っています。山家地区内でも高齢者率が高い地域ですが、公民館活動を活発に行ってています。

特に、毎月の「いきいきサロン」には高齢者が多く集まり和気あいあいと過ごし連帯を深めています。しかし、昨年、今年と新型コロナウイルス感染症のため公民館での実施ができなくなり、家庭訪問を中心とした福祉活動に力を入れています。

また、円通院の「大施餓鬼供養」においては、7区で夜店を出し子どもからお年寄りまで多くの方に楽しんでもらっていました。しかし、これもコロナの影響でこの2年間は実施できず来年こそはと思っているところです。他には山家川清掃活動や防災活動も毎年行っています。今後も地域の活性化に向けて、福祉・防災を中心に据え役員を中心に公民館活動に取り組んでいきたいと思います。

山家7区公民館 館長 長岡志津彦・主事 平田則子



(200号線沿いにある7区公民館)



(春爛漫：はすまち団地の桜)



(夏盛り：大施餓鬼供養での夜店)



公民館紹介 針摺東公民館



針摺東地区は、「一人の老人が斧を磨りへらし針を創っている」との菅原道真の伝説に由來した歴史ある地区です。平成17年4月に分区が行われ、国道3号線を境に西側が針摺区、東側が針摺東区として誕生し、現在約1,100世帯の住宅地区となっています。

「針摺東公民館」は、地域住民の相互交流を深める「館」として「でいい」「ふれあい」「学び」の場として位置づけています。

毎年、ゆめタウン(コーナン横)駐車場を借りて行う夏祭りには約2,000名を超す来場者があり大変な盛り上がりを見せていますし、文化祭では筑紫高校生徒によるお茶の振る舞い等地域に根ざした活動を心がけていますが、コロナの関係で、この2年間開催出来ていないので残念です。

今後も、“安全、安心で暮らしやすく住みたい街、針摺東”を目指しています。

針摺東公民館 館長 松尾則之